

子どもたちの感性豊かな提言をまちづくりに

# 子ども模擬議会



今年で15回目となる「子ども模擬議会」が、7月9日(金)、市議会本会議場で開催されました。

市内に20ある小学校から子どもたちの代表として6年生20人が「1日議員」となり、中川市長ら市執行部に「市制施行70周年イベント」、「防災に対する取り組み」、「温暖化防止」など小学生の視点から、土浦の未来について鋭い質問を投げかけました。

今号では、子ども議員の質問と市の答弁の概要を紹介します。

## 教育



東小 健登さん  
なかみ けんとう

### 公民館や学校の図書 の充実

三中地区公民館の図書室は、四中地区公民館と異なり、図書館の分館で、置かれている図書も多く、本の入れ替えや予約、リクエストも行っていきます。また、市では、移動図書館の代わりに、図書館と学校が協力し、学校でも図書館の本が借りられる仕組みを工夫しています。

なお、現在、新図書館を作る計画を進めていますので、楽しみに待っていてください。(長峰教育次長)

## 消防



土浦小 凱士さん  
はせがわ かいと

### 火災への対応や防 止策

市では文化財を火災から守るために、毎年1月26日の文化財防火デー前後に、消火・通報・避難の訓練を実施しています。消防本部では、火災を起こさない、広がらせないため、市内6か所の消防署で24時間体制で対応しています。

また、皆さんが火災を発見したら、周囲の人に知らせ、119番通報してもらおうと同時に自分の身を守るために避難して下さい。(青山消防長)



下高津小 遥さん  
くぼた 遙さん

### 土浦市の観光PR

市ではいろいろなパンフレットやホームページ、マスコミを使ったPRのほか、最近ではフィルムコミッションで、テレビや映画を通して土浦を紹介しています。

一番のPR方法は、市民に土浦を愛する気持ちを持った「土浦ファン」になってもらい、本市の良さをひろめていただくことです。多くの人に土浦の良さを知っていただきたいと考えています。(埴産業部長)

## 産業



穴塚小 楓さん  
あなづか 楓さん

### 交通事故の現状と 交通安全対策

平成21年度の人口1万人当たりの交通事故は、全国が約57件に対し、本市では約78件と多く発生しています。事故の原因は、飲酒運転や信号無視などです。交通事故を減らすため、市では全国交通安全運動期間中の街頭キャンペーンや幼稚園・学校などでの交通安全教室を行っています。また、通学路点検やカーブミラーの設置など事故防止に努めています。(羽成市民生活部長)

## 市民生活

市長公室



市制施行70周年のイベントによるPR

大岩田小 桑田 信隆さん

本年11月3日に開催する市制施行70周年記念式典において、イメージキャラクター「つちまる」を発表し、土浦をPRしていくほか、例年行っている花火大会なども内容をより充実させて70周年を盛り上げていきます。また、「自然や歴史の豊かなまち土浦」を、全国の人たちに知ってもらい、来ていただけるように、いろいろなアイデアを出してPRして行きます。(中川市長)

教育



避難場所に指定されている学校の耐震性

真鍋小 中村 桃子さん

市内の小中学校28校のうち、23校の体育館については、地震に強い構造になっていきます。残りの5校についても、地震災害時の避難場所としての役目を果たすため、計画的に耐震補強工事を進めています。なお、高校8校の体育館は、地震に強い建物になっていきます。そのほか、地震に強くない校舎が残っているので、順次耐震補強工事を進めてまいります。(中川市長)

保健福祉



ペットボトルのキャップを集める運動

都和小 高橋 海斗さん

市では社会福祉協議会が中心となって、世界にポリオなどのワクチンを送るため、市内14カ所にボトルキャップの回収箱を設置しています。現在、市内の4つの小・中学校で、キャップを集めています。今後は、ほかの学校にも呼びかけ、ボランティアの輪を広げていきたいと考えています。ぜひ、高橋さんが通う都和小学校でも、みんなで話し合って取り組んでください。(五頭副市長)

保健福祉



高齢者が明るく元気に生活できる取り組み

荒川沖小 五木田 真和さん

市では「ふれあいネットワークショップ」という計画書をつくり、高齢者の皆さんが安心して快適に暮らすことができるようさまざまな取り組みを行っています。また、昔のおもちゃ作りなどを通して、高齢者と子どもとの世代を超えた生きがいづくりを実施しています。地域でも、高齢者の皆さんが明るく元気に暮らすことができるよう、「声かけ運動」をお願いしています。(湯原保健福祉部長)

総務



滞納を防いだり期日までに納付してもらおう取り組み

中村小 秦野 高広さん

税金は皆さんのために使われる大切なお金ですが、さまざまな理由から納付できない方もいます。そのため口座振替やコンビニエンスストアなどで納付する仕組みを取り入れたり、納税相談を行っています。理由もなく納めない方には、ペナルティーもあります。そのようなことを無くすためにも、税金に対しての疑問や関心をもってもらえるようPRしていきます。(瀧ヶ崎副市長)

教育



学校と農家が協力して給食の食べ残しを活用する方法

土浦第二小 藤崎 薫さん

給食には、土浦市の農家の人たちが一生懸命育てた野菜が使われ、献立も工夫しています。昨年の9月から、食べ残しをたい肥化し、農作物の肥料として品質を確認しているところがあります。安心して作物に使用することが出来るなら、たい肥で野菜を作り、給食に使いたいと考えています。また、給食が楽しくなるように、「日本全国味のめぐり」の特別メニューを取り入れてます。(富永教育長)

市長公室



明るく楽しい市のホームページに

神立小 飯田 匡輝さん

ホームページは、幅広い年齢の市民の皆さんに、大切な情報を正確に伝えるため、文字の量がどうしても増えてしまいます。これからは、利用者ももっと増えていくので写真やイラストを使い、明るく楽しいと感じてもらえるように工夫したいと思っています。また、ほかのホームページなどを参考に、楽しいキッズページを作成するように勉強していきたいと思っています。(小泉市長公室長)

消防



高齢者への火災予防対策

上大津東小 高野 寛大さん

消防本部では、防災訓練や防火診断などあらゆる機会をとらえて火災を減らすための指導しています。また、住宅火災による高齢者の死者数を減らすために、市では新築以外の住宅についても、住宅用火災警報器の設置を義務付けています。そのほか、一人暮らしの高齢者の方への対策として「一人暮らし老人等緊急通報システム」の制度を取り入れたいです。(青山消防長)



上天津西小  
菊地 美智さん

### 地産地消の取り組み

日本の食料自給率は、先進国中で最低水準にあり、その向上のためにも地元の食材を日々の食事に生かすことが必要です。地元で生産された安心・安全な農産物を、地元で消費することにより地域の農業を応援し食糧自給率の向上につながります。これからも、安全で新鮮な農産物を供給するため、地産地消に取り組み生産農家の皆さんと一緒に努力していきます。(埴産業部長)



都和南小  
安藤 万緒さん

### 募金活動への参加についてのアドバース

学校で世界の国々のことを学習されているそう、募金活動を通して海外の子どもたちを支援したいと思うことは、とても良いことです。学校でどういう目的でお金を集めるのかを話し合ったらうえで、活動をはじめてみてはどうでしょうか。ユニセフから、パンフレットを送ってもらい、みなさんで考えるきっかけをつくったり、ほかの学校と連携することも大切です。(湯原保健福祉部長)



乙戸小  
真田 莉子さん

### 通学路の安全対策

通学路を、自転車歩行者道として整備するのは困難です。そこで市では、安全に通学が出来るよう、通学路安全点検調査や市民からの通報、パトロールによる道路の危険箇所の早期発見、カーブミラーの設置、補修などの対策を行っています。また、暗い道路は、街灯の設置について地域の皆さんと相談し整備を検討していきます。今後とも、安全な通学路の確保に努めます。(木村建設部長)



菅合小  
中山 友裕さん

### 緑化運動の具体的な活動

緑の募金の寄付金は、森林整備や緑化活動・緑の少年団育成事業などに活用されています。市内でも、森林の保護や緑化フェア、グリーンカーテン設置、市立保育所・幼稚園の園庭芝生化などの緑化事業を市民や企業の協力を得て実施しています。市では、「地球温暖化防止行動計画」を作成し、温室効果ガスを吸収する事業に取り組みますのでご協力をお願いします。(埴産業部長)



藤沢小  
飯島 結女さん

### 水害に備えるための取り組み

水害を防ぐ工夫として、堤防工事や水防訓練を行っています。緊急時の連絡は、防災無線などで情報を伝えます。避難場所については、洪水避難地図を作成しました。市内30か所の防災倉庫に、非常食、水、毛布などを保管しています。自然災害はいつどこで発生するか予測が難しいので、避難の道順や連絡先など、日頃から家族と話しあってほしいと思います。(久保庭総務部長)



斗利出小  
山本 陸さん

### CO<sub>2</sub>削減の取り組み

市では地球温暖化防止計画を策定し、今後10年間に市民や企業、市役所それぞれが取り組むべき具体的な対策を定めました。太陽光発電の導入や省エネの促進、エコ製品を積極的に使うことなど多くの取り組みを掲げています。個人でも物を大切にすることやゴミの分別、節水、LED電球の使用などできる取り組みはたくさんあるので、できることから実践していきます。(中川市長)



山ノ荘小  
野口 潤也さん

### 活力のある土浦のまちづくり

歴史資源を生かした「まちなみ整備」や土浦駅前北地区再開発事業での図書館整備などで多くの人が市街地に集まり、住んでもらえるような魅力あるまちづくりを進めています。また、土浦北インター周辺に工場や会社が増えてもらえるようにPRし、そこで働く人たちに住んでもらって地域の活性化につなげ、「賑わいと活気のある土浦」にしたいと思います。(東郷都市整備部長)



右初小  
横山 奈季さん

### 校庭の芝生化を進める計画

昨年、右初小学校では、地元のボランティア団体と学校が協働して、校庭を全面芝生化しました。芝生化することでさまざまなよい点があります。市では、芝刈り作業などで、地域のみなさんに協力をいただきながら、芝生化する学校を増やしたいと考えています。横山さんも、ボランティアのみなさんのお手伝いをして、芝が元気に育つよう協力してください。(中川市長)

# ..... 子ども模擬議会写真館 .....



# 子ども記者新聞

## 子ども模擬議会開催される

子ども模擬議会の取材を通して「見る・聞く・書く・表現する力」を育てることを目的に作られた「子ども記者クラブ」は、今年で8回目となりました。

子ども記者たちは、現役の新聞記者から取材に当たったの心構えやメモの取り方などを教わった後、議場の記者席で議員の質問や答弁の内容を、熱心に取材していました。

子どもたちが、文章にまとめることの難しさや人に伝えることの大切さなどを学びながら完成させた記事(一部修正を加えています)をご覧ください。



土浦市立図書館

7月9日、子ども模擬議会が市議会本会議場で開かれました。土浦市立東小学校の中峰健登さんが「三中地区、四中地区公民館の本を充実させる計画について」「移動図書館を土浦市でも行うことはできるか」について質問しました。

一つ目に対しては「三中地区公民館は市立図書館と親子の関係のようだが、四中地区公民館はそうではない。三中地区公民館の本の冊数は約1万4500冊。四中地区公民館には約4300冊。東小学校は約6500冊ある。これだけたくさんあるので、まだそういう計画はない」。次の質問に対しては、「移



レンコンの収穫風景

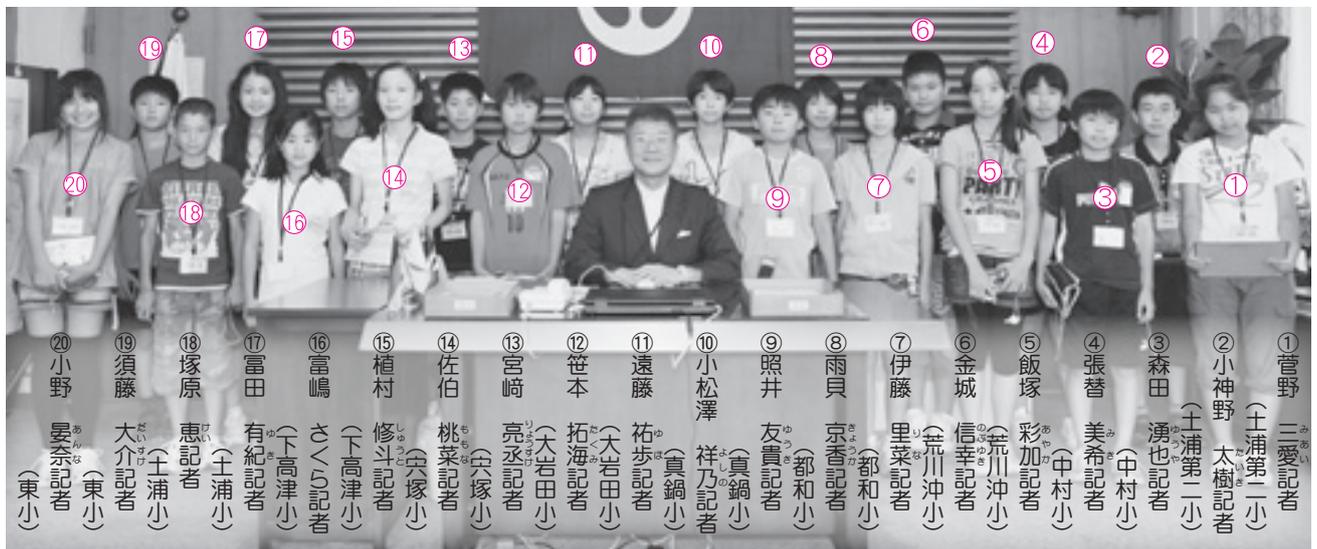
市内でとれた農産物を使っているなど工夫をしていることをアピールした。また、フードアクションニッポンとして、地元でとれた農産物を紹介し、消費しているということが分かった。

(浅野友美)

2010年度子ども模擬議会が土浦市役所の市議会議場で行われた。菊地美智議員は、土浦市のレンコンなどの農産物を使った地産地消の取り組みについて質問し、産業部長は、「2008年度の食料自給率は40パーセントと世界最低。2020年度の食料自給率50パーセントを目指していく」と発表。そこで地元で消費する農産物などのようなものなのか分かるよう、スーパーでだれがつくったかを公表したり、給食では、

動図書館は時間が決まってしまう、土浦市立図書館ではやっていない。移動図書館ができないから、学級文庫をやっている。東小学校には昨年6月から、年間で140冊の本を届けた。これを利用してほしい」。また、「新しい図書館が土浦駅の近くに数年後にでき上がる計画がある」と回答しました。

(須藤大介)



- ① 菅野 (土浦第一小) 二愛記者
- ② 小神野 (土浦第一小) 大樹記者
- ③ 森田 (中村小) 湧也記者
- ④ 張替 (中村小) 美希記者
- ⑤ 飯塚 (中村小) 彩加記者
- ⑥ 金城 (荒川沖小) 信幸記者
- ⑦ 伊藤 (荒川沖小) 里菜記者
- ⑧ 雨貝 (都和小) 京香記者
- ⑨ 照井 (都和小) 友貴記者
- ⑩ 小松澤 (貫鍋小) 祥乃記者
- ⑪ 遠藤 (大岩田小) 祐歩記者
- ⑫ 笹本 (大岩田小) 拓海記者
- ⑬ 宮崎 (大岩田小) 亮丞記者
- ⑭ 佐伯 (六塚小) 桃菜記者
- ⑮ 植村 (六塚小) 修斗記者
- ⑯ 富嶋 (下高津小) さくら記者
- ⑰ 富田 (下高津小) 有紀記者
- ⑱ 塚原 (土浦小) 恵記者
- ⑲ 須藤 (土浦小) 大介記者
- ⑳ 小野 (東小) 晏奈記者



つちまる

7月9日、土浦市の2010年度模擬議会が市役所の議場で行われ、大岩田小学校6年1組桑田信隆さんは、土浦市のPRについて質問した。

市長は、「土浦市PRのために、土浦市70周年として、イメージキャラク

ター『つちまる』を作った。今年の11月3日に70周年記念式典を開催し、全国に市をPRするためのDVDを上映する予定」と話した。キララ祭りなど毎年行なわれている行事は、スタンプラリーを加えるなどして、内容を盛りだくさんにするつもりだ。

市長は、桑田さんに、「土浦市を全国にPRするために、桑田さんにもPRしてもらいたい」と言っていた。(遠藤祐歩)

土浦子ども模擬議会が9日、同市議会議場で開かれ、土浦市立土浦第二小学校の藤崎 薫さんが、給食の食べ残しについて「たい肥として利用し、育てた野菜を給食に出すのはどうか」と提案しました。



学校給食の様子

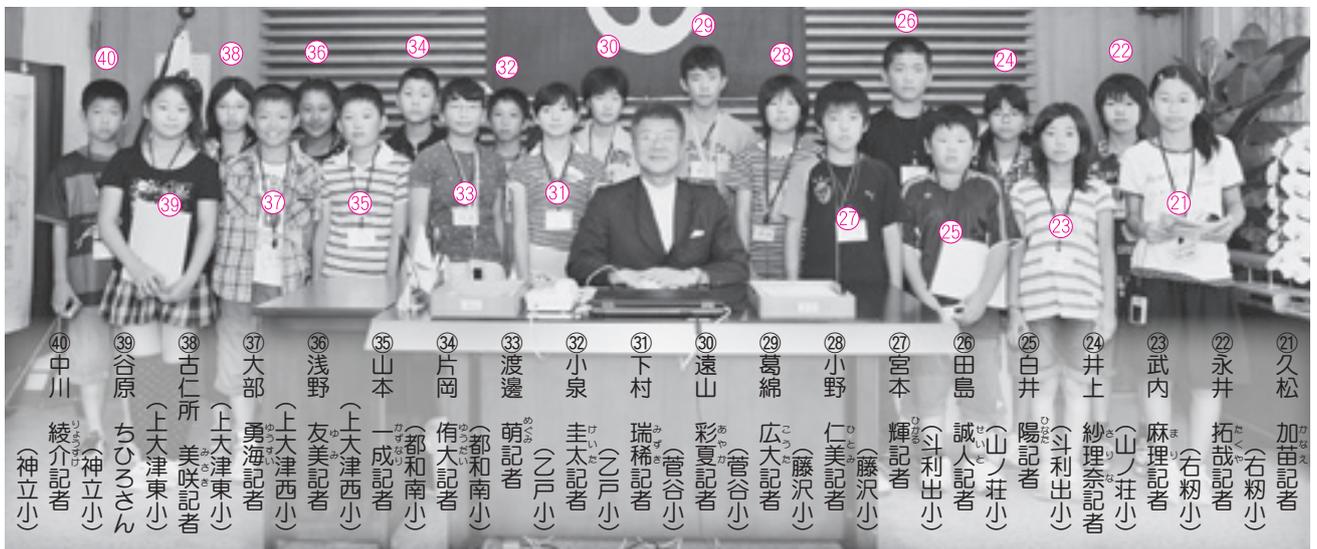
して処分していたそうです。しかし、これからはリサイクルできるものほ

サイクルし、できない物だけを捨てるそうです。また、安心安全な食べ物を目指すために、地元でできたものを使用したり、作った人の顔写真をのせたりすることを発表しました。

月末に地域の消防団で堤防の点検を行っているそうです。また、各家庭には、防災避難地図が配られており、災害がおこった時の避難場所が記してあるとのことでした。各小・中学校には、30か所の防災倉庫があり、その中には、トイレや約5万人分の非常食、水があるそうです。次の質問、私たちに協力出来ることはありますか」に対して、「自宅に非常食や水を用意し、避難場所を家族で話し合っておくと良いでしょう」と回答してくれました。(宮本 輝)



水害に備えて行なわれる水防訓練



- 21 久松 加苗記者 (石粉小)
- 22 永井 拓哉記者 (石粉小)
- 23 武内 麻理記者 (山ノ荘小)
- 24 井上 紗理奈記者 (斗利出小)
- 25 白井 陽記者 (斗利出小)
- 26 田島 誠人記者 (山ノ荘小)
- 27 宮本 輝記者 (藤沢小)
- 28 小野 仁美記者 (藤沢小)
- 29 葛綿 広大記者 (菅谷小)
- 30 遠山 彩夏記者 (菅谷小)
- 31 下村 瑞稀記者 (戸小)
- 32 小泉 圭太記者 (戸小)
- 33 渡邊 萌記者 (戸小)
- 34 片岡 侑大記者 (都和南小)
- 35 山本 一成記者 (都和南小)
- 36 浅野 友美記者 (上大津西小)
- 37 大部 勇海記者 (上大津東小)
- 38 古仁所 美咲記者 (上大津東小)
- 39 谷原 ちひろさん (神立小)
- 40 中川 綾介記者 (神立小)